

地域在住高齢者におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理に重点を置いた介入効果の探索的調査

岩瀬 拓 ● 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部 理学療法士



公民館で体操を実施する様子

要旨

リハビリテーション・栄養・口腔管理の多職種連携による取り組みによるアプローチに対する期待値は大きいと言える。そこで我々は、医科外来(口コモフレイル外来)患者、訪問リハビリテーション利用者、フレイル予防事業参加者の3つの研究エリアにおける身体機能・栄養状態・口腔機能の関係を調査し、多職種連携によるアプローチの可能性を検討した。

パス解析や群間比較の結果、フレイルと低栄養、低栄養とオーラルフレイル、オーラルフレイルとフレイル、それぞれが互いに関係性を持つことが明らかとなった。

地域医療貢献のポイント

地域在住高齢者に対するリハビリテーション・栄養・口腔管理の多職種連携による取り組みによるアプローチの結果を示すことで、予防事業としての新たな可能性を示すことができる研究であると考えます。

1. 取り組みの目的と方法

近年、リハビリテーション・栄養・口腔管理の多職種連携による三次予防の取り組みにより、疾病の重症化予防や合併症予防等へのアプローチが注目を集めている。これら3要因はフレイルや要介護状態と相互に関連し、要介護状態や入院、死亡といった負の転帰につながるリスクを高めるため早期発見と早期介入が望まれる。内閣府より示された、骨太方針2023の社会保障分野における経済・財政一体改革の強化・推進の項目には、「健康寿命を延伸し、高齢者の労働参加を拡大するためにも、健康づくり、予防・重度化予防を強化し、(中略)リハ、栄養管理および口腔管理連携・推進を図る」と明記され、多職種連携介入の必要性は国策としても重要な課題であると考えます。

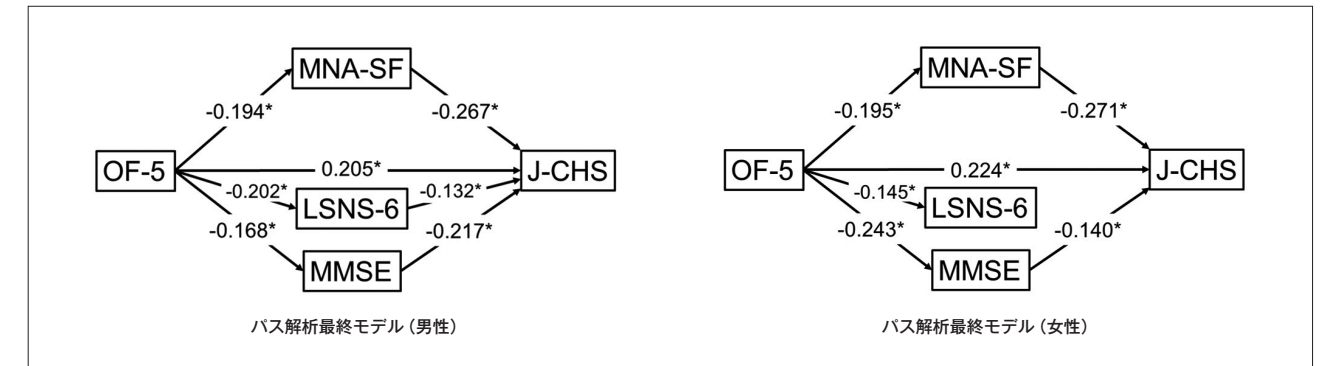
そこで本研究では、地域在住高齢者において、身体機能・栄養状態・口腔機能の評価を行い、フレイルや低栄養、口腔機能低下症等に対して多職種連携で運動指導や栄養指導もしくは口腔管理指導等の介入を行い、その有効性と二次予防の可能性について検討することを目的とした。

収集項目: 身体機能、食事・栄養状態調査、口腔機能、服薬状況等に関する調査。既存データより、初診から1年毎のフレイル発生の有無等の後方視的調査。



2. 現状の成果・考察

口コモフレイル外来患者におけるパス解析結果



訪問リハビリテーション利用者における身体機能と栄養状態
低BMIと機能変化量

Item	Median difference between the two groups in change from baseline using the Hodges-Lehmann estimator			Quade's Nonparametric ANCOVA		
	Estimate	95%CI	t-value	df	P-value	
ΔFIM	0.0	(-2.0 1.0)	-0.218	82	0.828	
ΔFAI	0.0	(-3.0 3.0)	0.125	79	0.901	
ΔHG	-2.0	(-4.0 -1.0)	-2.562	75	0.012	
Δ5CS	-0.2	(-3.5 2.8)	0.192	69	0.848	

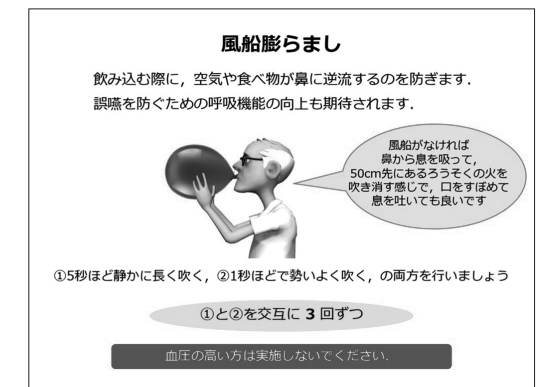
フレイル予防事業参加者におけるオーラルフレイルと栄養状態
サルコペニアと機能変化量

Item	Median difference between the two groups in change from baseline using the Hodges-Lehmann estimator			Quade's Nonparametric ANCOVA		
	Estimate	95%CI	t-value	df	P-value	
ΔFIM	1.0	(-1.0 3.0)	1.127	82	0.263	
ΔFAI	1.0	(-2.0 4.0)	0.514	79	0.608	

3. 今後の展望

本研究成果は要介護に陥るリスクの高い高齢者の早期発見・早期介入につながり、介護予防に資するための有用な資料になる。さらに追跡調査を行うことで、フレイル発生率や要介護度認定、入院割合の変化といった長期的な効果の検証も行う。これらの成果を活用することで、他の地域・自治体においても二次予防策の実施が可能

フレイル予防事業での口腔機能に関する講義の資料



となり、全国の地域・自治体における予防事業の標準化へとつなげることが期待できる。さらに薬剤師が介入することで、服薬による副作用としての口渇や眠気等の身体機能・栄養状態・口腔管理へ作用する薬剤の調整が可能であり、これまでの多職種連携では効果を示すことができなかった要素も明らかにすることができると考える。